

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	グランリベレ明石	階数	地上11F
建設地	兵庫県明石市榎屋町1番4の一部	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域・商業地域、準防火地域	平均居住人員	100人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	事務所集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年9月 予定	評価の実施日	2023年1月11日
敷地面積	676.94 m ²	作成者	環境システム設計 神川
建築面積	420.07 m ²	確認日	2023年1月26日
延床面積	3,850.23 m ²	確認者	環境システム設計 馬場



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (92 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 84% (46 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 84%

④上記+ 84%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.4

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.1

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	快適な居住空間を確保し、建物全体の一次エネルギー消費量を抑えて環境にも配慮し、周辺の景観から逸脱したデザインとならないような形状・色彩とした	その他
Q1 室内環境	外皮断熱性能は住戸の最大でもUA値0.69であり、開口部の遮音性能T-2等と快適な室内環境を確保している	Q3 室外環境(敷地内)
LR1 エネルギー	断熱性能は等級4を確保し、設備は高効率型の高給湯器の採用や照明器具のLED型採用とし建物全体の一次エネルギー消費量を低く抑えている	LR3 敷地外環境
Q2 サービス性能	事務所も住宅もゆとりある階高を確保している。また、設備配管は更新必要間隔が長いものを使用し建物の耐用性に配慮している。	その他
LR2 資源・マテリアル	各住戸に節水型便器を採用し水資源保護を考慮している	その他

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される